

「炎上」の不安なく、安心・安価に。
日本最大級の育児サイト「ベビカム」上でスタート、
＜七田チャイルドアカデミー コミュニティ＞

株式会社デジタルブティック(東京都中央区 代表取締役:安西正育)は、自社が運営する育児コミュニティサイト「ベビカム」上で、育児関連企業が安心・安価に自社のコミュニティを立ち上げられるサービスの第2弾として、七田チャイルドアカデミー(株式会社七田チャイルドアカデミー 大阪府大阪市:藤山 守重)のコミュニティを、本年12月21日にオープンします。



【自社コミュニティサイト立ち上げのニーズ】

多くのBtoC型の企業には「ファンや顧客が集う自社の『コミュニティサイト』を持ち、ユーザーを囲い込みたい」というニーズがありますが、自社でコミュニティサイトを立ち上げるには、以下のような問題があります。

企業がコミュニティサイトを立ち上げる際の懸案事項

- (1)集客……ユーザーが集まるのか
- (2)運営……誹謗中傷、悪質な発言によりブランドイメージが傷つかないか
- (3)コスト……サイトの立ち上げ、運用、集客、運営にかかるコストが莫大

【すでにユーザーが定着しているベビカムコミュニティを利用した、企業コミュニティ】

そこで、日本最大級の育児コミュニティサイト「ベビカム」を、12年以上運営する弊社では、妊娠・育児関連企業が「ベビカムコミュニティ上で」安心して、しかも安価に自社コミュニティを立ち上げられるサービスを、本年12月17日に開始しました。これがベビカム・コミュニティ・パートナーズ(BCP)です。

【BCP 企業側のメリット】

- (1)集客……「ベビカム」ですでに盛り上がっている45のコミュニティを、企業コミュニティのメニューとして内蔵できるので、顧客にとって魅力的なサイトが用意できる
- (2)運営……「ベビカム」が既存コミュニティ運営の一環として投稿監視・運営を行うので、企業側の運営負担はなし
- (3)コスト……コミュニティサイトを新設するのに比べ、格段に安価なコストでコミュニティが準備できる

以上のように、新サービス「ベビカム・コミュニティ・パートナーズ(BCP)」は、育児コミュニティ運営の成功ノウハウを、そのまま企業が活用でき、企業独自のコミュニティが構築できるしくみです。サービス開始の17日に、子供服メーカーのミキハウス(三起商行株式会社)によるコミュニティがオープンしたのに続き、本日12月21日に七田チャイルドアカデミーコミュニティがオープンします。

ここで、七田チャイルドアカデミーの講師らが、育児に関する相談に乗ったりすることで、ユーザーに七田チャイルドアカデミーへの親近感が醸成され、新規会員開拓へつながると考えています。

七田チャイルドアカデミーBCP
<http://com.babycome.ne.jp/shichida/>

BCP(ベビカム・コミュニティ・パートナーズ) 概要

BCPトップページ

その企業のブランドイメージに合わせて制作

BCP会員登録

BCP会員(=ベビカム会員の一形態)として登録された会員の個人情報は、規約により企業側(今回の場合、七田チャイルドアカデミー)でも有効活用できる

企業からのお知らせ

専用管理画面により、企業側がいつでも簡単に、新製品情報や会員への特典をBCPトップページで告知できる

充実のコミュニティテーマ45

ベビカム既存の45のコミュニティテーマを内蔵

「妊娠初期」「妊娠中期」「妊娠後期」「ベビ友トーク」「もうすぐ出産!」「リサイクル市場」「仕事と育児の両立」・・・等

ベビカム内での、コミュニティ告知

BCPの最新記事を、ベビカム内の各ページでリアルタイムに表示し、BCPへの誘導を図る

「ベビカム」 <http://www.babycome.ne.jp/>

月間50万人の妊婦・母親が訪れる、妊娠・出産・育児の情報サイト。

1998年開設。コミュニティやオリジナル育児日記サービスのほか、最新の医療、生活、商品情報を提供。育児分野を中心とした大手企業からの継続的な協賛により運営されています。

2007年より、妊娠・育児中の女性約2万人を対象に毎週実施している「ベビカム ウィークリーリサーチ」は、2008年キッズデザイン賞審査委員長特別賞 社会貢献メディア賞を受賞。

月間ユニークユーザ数:約50万人 / 月間総アクセス数:約600万ページビュー以上

株式会社デジタルブティック

<http://www.digitalboutique.jp>

東京都中央区築地4-5-9 築地安田第2ビル8F

1996年2月20日設立 代表取締役:安西正育(あんざいまさやす)

「ベビカム」や「ベビカムケータイ」の企画・運営のノウハウを活かし、本田技研工業、日本経済新聞など、大手企業のサイト企画・開発・制作・運営を行っています。

この件に関するお問い合わせ / ご取材申込先

株式会社デジタルブティック 広報担当:倉本淑子

prs@digiboutique.or.jp

TEL:03-5148-5541 FAX:03-5148-5542